

高千穂神社

高千穂神社は、この地域で最も重要な神社で、高千穂 18 郷 88 社の総社です。1900 年の歴史があるといわれています。

高千穂神社は、日の神の天照大神の孫で地上界を治めた瓊々杵尊から始まる、日本の皇室の祖である最初の三世代の夫婦神を祀っています。

また、瓊々杵尊の直系であり、日本の初代天皇の兄にあたる三毛入野命も祀られています。地元では、三毛入野命は高千穂を統治したと考えられています。地元の伝説によると、三毛入野命は、村人を苦しめていた荒神鬼八を退治し、救ったと伝えられています。このように三毛入野命は禍から守ってくれると考えられてきました。